

No. 25-0152SH

報道関係各位

2025年12月5日

産経ヒューマンラーニング株式会社

＼授業では取り組みにくい“ライティング”をAIで！先生の負担を大幅軽減／ AI自動添削の英語日記サービス「えいログ」提供開始 ～英作文指導・評価の工数を削減し、生徒の「書く力」「話す力」を同時に育成～

産経ヒューマンラーニング株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：中谷友紀、以下「当社」）は、AI英語日記サービス「えいログ」の提供を、2026年4月より開始いたします。本サービスは、生徒が身近な話題について英語で日記を書き、最新のAI技術により即座に自動添削フィードバックが得られる、教育機関向けの英作文学習サービスです。生徒の自律的な学習を促進するとともに、先生方は生徒の学習状況をリアルタイムで把握し、より効果的な指導に集中できるようになります。また「英作文ドリル」機能では、先生が英作文の問題やテーマを設定できるため、英検対策などの自由英作文はもちろんのこと、授業中になかなか時間をかけられない教科書のライティングパートをドリルとして出題するなど、生徒一人ひとりの回答に個別で添削ができるだけでなく、授業時間の効率化にも繋がります。「日記」・「ドリル」のどちらでも充実の管理画面により、評価業務など先生の負担を軽減します。



【本件のポイント】

- 生徒一人ひとりのレベルに合わせた3つの入力モードで、苦手意識がある生徒も得意な生徒も取り組みやすい設計。AIが英作文を瞬時に自動添削し、生徒はその場でレベルに合ったフィードバックを受け取れる
- 管理画面から簡単に各生徒の利用状況把握と評価ができ、個別指導をサポート
- 「英作文ドリル」機能では、問いたい文法事項などを選ぶだけでAIが問題を生成。短い時間で各学校の授業やカリキュラムに合ったテーマで生徒に対してライティング学習を促せる
- 生徒が入力した内容を元に、AIと音声会話の練習もできる「AI音声学習機能」で、「書く力」と「話す力」を同時に育成

【本件の概要】

近年の英語教育では「読む・聞く・話す・書く」の4技能を総合的に育成することが重視されています。特に「書く力」としての英作文の指導は、生徒一人ひとりの作文を細かくチェックする必要があり、学校教員にとって評価観点の統一や膨大な添削工数が大きな負担となっています。

当社は、オンライン英会話サービスを提供する中で、「生徒自身が、自分で文を生み出す力」を強化できる教材の必要性を強く感じており、教員側の負担を軽減しながら、生徒に身近な内容をそのまま教材にして、伝える力を高めたいという想いから、AI自動添削の英語日記サービス「えいログ」を開発しました。

【「えいログ」について】

1.[生徒側]選べる3つの入力モードで、レベルや意欲に合わせて英語日記に取り組み、自動で添削が受けられる！

生徒は、「普通の日記」「穴埋め問題」「対話型日記」の3つの書き方から選んで日記を書くことができます。

英語が得意な生徒は「普通の日記」で自由に英作文を行えます。書きたいことはあるけど、英語に苦手意識のある生徒は「穴埋め問題」を選べば、日本語で入力した日記を英語の穴埋め問題として生成され、取り組むことができます。

「対話型日記」は、何を日記に書けばいいかわからない生徒向けに、話題を選び、質問に回答していくことで、日記の内容を段階的に書くことができる仕様です。

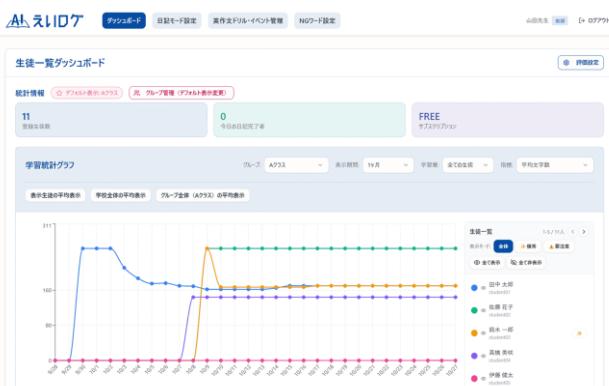


AIによる自動添削は、生徒がライティング完了後、すぐに画面に表示されます。添削は、CEFER 準拠のレベル設定に対応しており、レベルに合わせて解説も調節されます。

添削を受けた表現などをはじめ、日記の内容はAIが自動で重要表現をピックアップし、「マイ表現集」を作成するほか、学習記録の可視化や「ともだち機能」によるキャラクターからのコメントなど、生徒が楽しく継続できる仕組みが充実しています。

2.[先生側]管理画面で簡単に管理と評価ができる

先生向けダッシュボードからは、各生徒の取り組み回数が確認できるので、サポートが必要な生徒を瞬時に確認できます。各生徒の日記の内容・添削を受けた内容を確認し、フィードバックコメント入力やスタンプ機能などで、生徒に対してアクションすることができます。また、クラス全体への一括フィードバックも可能です。同じ内容を繰り返し入力しているなど通常と異なる利用が見られる場合には、先生へ管理画面にてアラートを上げる機能も備わっています。



The screenshot shows a user interface for 'AI English Composition Management'. At the top, there are buttons for 'Step 1: 戻る' (Back), '英作文ドリル管理' (English Composition Drill Management), 'Step 2 / 3: 問題選択・生成' (Select/Generate Problem), and '新規作成 (Step 3へ進む) >' (Create New >). Below these are buttons for '候補を更新' (Update Candidates) and '候補を削除' (Delete Candidates). The main area displays three existing topics for selection:

- 「秋にしたいことについて書こう。」 (Target Month: October, 50~100 words) with a 'このお題を編集' (Edit this topic) button.
- 「好きな秋の行事とその理由を書こう。」 (Target Month: October, 50~100 words) with a 'このお題を編集' (Edit this topic) button.
- 「部活動の朝練は必要だと思いますか。意見とその理由を書こう。」 (Target Month: October, 60~100 words) with a 'このお題を編集' (Edit this topic) button.

文化祭や体育祭など、みんなで同じ思い出を共有した日には、先生が同一テーマを設定して配信し、生徒に同じ話題について英作文してもらうことも可能です。

また、教科書で学習した文法事項を使って英作文をしてもらいたい時には、「和文英訳問題」機能で簡単に出題できます。「和文英訳問題」は、先生が設定した文法事項や出題のポイントに基づき AI が問題を自動生成するため、先生の教材準備時間を削減します。

3.「書く」力を活かして「AI 音声学習」で「話す」力の育成も

The screenshot shows the 'AI English Diary Service' interface, titled 'AI English Diary'. It features a pink background with a white circular icon of a person wearing a mask. The interface includes buttons for '会話履歴' (Conversation History) and '音声設定' (Voice Settings). A central box displays a message: '今日の会話' (Today's Conversation) with the text '会話を始めには、ボタンを押してください' (Please press the button to start the conversation). Below this is a '会話開始' (Start Conversation) button.

書いた日記の内容を元に、AI と英会話の練習ができる「AI 音声学習」機能も用意しています。生徒はただ日記を書くだけでなく、自分の言葉として、「話す」練習を繰り返すことで、表現の定着を図り、スピーキングへの自信を育みます。

生徒自身が書いたテーマで話せるので、オンライン英会話のウォーミングアップとしても最適です。会話が終わった後には、会話の内容について AI からフィードバックが送られ、振り返り学習にも役立ちます。

【詳細】

名称：AI 英語日記サービス「えいログ」

期間：2026 年 4 月より

定員：要問い合わせ

対象：中学校・高校の生徒（学校・クラス・部活動単位での導入を推奨）

金額：要問い合わせ

詳細：<https://human.sankei.co.jp/doc/lp1/eilog-for-school/>

【トライアルのご案内】

現在ご興味を持っていたいた学校・団体様向けに無料のトライアルをご案内しております。

お気軽にご連絡ください。

ご連絡はこちらから>> <https://secure-link.jp/wf/?c=wf43598997>

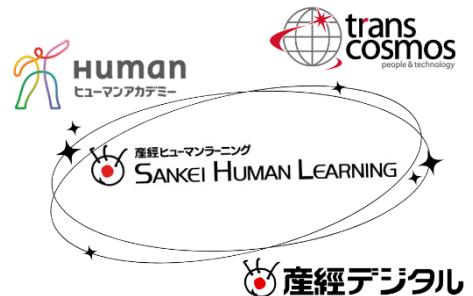
【今後の事業展開】

当社は、「えいログ」をはじめ、中高生が楽しんで自律的に学び、英語 4 技能を確実に伸ばせる仕組みを開発してまいります。先生方の指導負担の軽減を最優先とし、AI を活用したアウトプット能力最大化サービスを継続的に提供してまいります。

■産経ヒューマンラーニングについて <https://human.sankei.co.jp>

産経新聞グループの信頼を届ける『株式会社産経デジタル』・「学ぶ」「働く」「支える」を応援する『ヒューマンアカデミー株式会社』・「Your Global Partner」『トランスコスモス株式会社』の3社による共同事業で、安心・安全・高品質なオンライン英会話サービス「産経オンライン英会話 Plus」を提供しております。

フィリピン人講師、ネイティブ講師、日本人講師によるレッスンで初心者から上級者の方まで安心して学んでいただけます。また、現在までに法人500社、学校350校以上にレッスンを提供しています。



産経デジタル

■ヒューマングループについて <https://www.athuman.com/>

ヒューマングループは、教育事業を中心とした人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開し、2025年4月に創業40周年を迎えました。1985年の創業以来「為世為人（いせいいいじん）」を経営理念に掲げ、各事業の強みを生かし、連携しながらシナジーを最大限に発揮する独自のビジネスモデルにより、国内340拠点以上、海外4カ国5法人のネットワークでお客様に質の高いサービスを提供しています。

ヒューマンホールディングスは、日本リスクリングコンソーシアムの後援パートナーです。



日本リスクリングコンソーシアム
学び続けよう、未来のために。

会社概要

産経ヒューマンラーニング株式会社

- 代表者：代表取締役 中谷 友紀 ●所在地：東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア
- 資本金：5,000万円 ●URL：<https://human.sankei.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ ■ 産経ヒューマンラーニング 広報担当 橋本
TEL：03-6388-0110 FAX：03-5925-6545 E-mail：customer@sh-learn.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ ■ ヒューマングループ 広報担当 若林・平
E-mail：kouhou@athuman.com